

令和4年度 清原中学校 学校評価書

※ 網掛けのない部分が評価計画、網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

1 教育目標（目指す生徒像含む）

- (1) 基本目標
①活力ある生徒 ②よく考え、創造する生徒 ③豊かな心を持ち、思いやりのある生徒
- (2) 具体目標（具体的な生徒像な）
①頑張る人 ②考える人 ③思いやりのある人

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

豊かな心と健やかな身体をもち、社会の変化に主体的に関われる能力や創造力を培い、自らの向上とより良い社会の発展を目指し、国際社会に生きる人間性豊かでたくましく生きる生徒を育成する。

3 学校経営の方針

- (1) 教職員の和を基調とし、「教師が変われば、生徒も変わる」を信条に、師弟同行の実践を踏まえ、「生徒を前面に出し、見守り・見届ける」生徒指導に徹する。
- (2) 知・徳・体の調和を図り、各教科等において基礎・基本、体験的な学習や課題学習、個に応じた指導を重視し、自ら学ぶ態度を育成する。
- (3) 緑に恵まれた環境を活かし、思いやりや助け合う心を育て、特色ある学校づくりに努める。
- (4) 道徳教育・人権教育・国際理解教育の充実と各教科、総合的な学習の時間、特別活動等の特質に応じた指導の深化を図り、生徒の活力を醸成する。
- (5) 一人一人の生徒が自己の特性について理解を深め、進路に関する情報を収集・活用し自らの生き方を探求するとともに、進路の選択・決定ができるよう、学校、家庭及び地域社会との連携を密にしながら、指導・支援に努める。
- (6) 教職員の働き方の推進に向けて、生徒と向き合う時間の確保及び就労時間の削減のために、日課の工夫や IT を活用した業務の効率化を図る。

【清原地域学校園教育ビジョン】

自己を見つめ、自己のよさを生かした夢の実現に向けて主体的に取り組む児童生徒の育成 2nd stage
～人との豊かなかかわりを通して～

4 教育課程編成の方針

本校教育目標を達成するため、地域や学校の実態及び生徒の心身の発達の段階と特性等を十分考慮し、知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな生徒の育成が図れるよう各教科等の指導内容、指導形態、時数等の相互の関連を考慮し、教育課程を編成する。その際、学力の基礎・基本の定着、心の教育、健康安全の確保、地域とともにある学校づくりに留意する。

5 今年度の重点目標 ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

【 学校運営 】

- ・活力ある生徒の育成を目指した活力ある学校づくりの推進～「社会に開かれた教育課程」の理念に基づいた「地域とともにある学校づくり」の推進を通して（創立75周年記念事業関連の活動を活用）～
- ・日課の工夫や ICT の活用による生徒と向き合う時間の確保及び就労時間の削減

【 学習指導 】

- ・「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」及び「学びに向かう力、人間性等」の育成
- ・学習に1人1台端末などを活用しながら自主的・主体的に取り組み、他者との対話を通して、自らの学びを深めることができる生徒の育成

【 生徒指導 】

- ・「生徒を前面に出し、見守り・見届ける」生徒指導の充実
- ・思いやりをもち、認め合い、助け合いながら良好な人間関係を築ける生徒の育成
- ふわふわ言葉（やさしい言葉）の推進・ちくちく言葉（人を傷つける言葉）の禁止

【 健康（体力・保健・食育・安全）】

- ・自らの命を守り抜くための危機予測・回避能力の育成
- 健康教育及び安全教育を推進し、心身ともに健康で安全な生活態度や習慣の形成

6 自己評価（評価項目のAは市共通、Bは学校独自を示す。）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所の下線を付ける。

※「主な具体的な取組」の方向性には、A拡充 B継続 C縮小・廃止、を自己評価時に記入する。

項目	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価
目指す生徒の姿	<p>A 1 生徒は、進んで学習に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「生徒は、授業中、話をしっかりと聞いたり、発表したりするなど、進んで学習に取り組んでいる。」 ⇒ 生徒の肯定的回答 90%以上</p>	<p>① 学習の3つの決まり ・チャイム着席 ・きちんと起立、礼 ・指名されたらハイ の徹底を図る。</p> <p>② 4月に配付した「きよはら学習ガイド」を通年で活用し、学習態度や学習の進め方を指導する。</p> <p>③ 授業中は、教師の指示や説明を集中して聞くようにさせるとともに、落ち着いた学習環境作りに努める。</p> <p>④ グループで話し合う場面や発表する場面を意図的・計画的に設定し、主体的に学習に取り組むようにさせる。</p>		<p>【達成状況】</p> <p>【次年度の方針】</p>
	<p>○A 2 生徒は、思いやりの心をもっている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「生徒は、誰に対しても、思いやりの心をもって優しく接している。」 ⇒ 生徒の肯定的回答 90%以上</p>	<p>① 道徳科の授業で思いやりについて考えさせ、日常生活において思いやりの心を態度で示すことができるようにさせる。</p> <p>② 全教職員は、日常的に生徒の言動に <u>気を配り、ふわふわ言葉（やさしい言葉）の推進をし、ちくちく言葉（人を傷つける言葉）の禁止を徹底する。</u></p> <p>③ 給食活動や清掃活動などの当番活動や係活動において、互いの役割を尊重する意識を高める。</p> <p>④ 生徒の活動をしっかりと観察し、望ましい行動を日常的に称賛する。</p> <p>⑤ 学校行事後は、統一した振り返りシートを活用し、思いやりの心の大切さや意義に気付くとともに、お互いに認め合えるようにする。</p>		<p>【達成状況】</p> <p>【次年度の方針】</p>

<p>目指す</p>	<p>A3 生徒は、きまりやマナーを守って、生活をしている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「生徒は、きまりやマナーを守って、生活をしている。」 ⇒ 生徒の肯定的回 85%以上</p>	<p>① 生徒の委員会活動での自主的な活動を、掲示物やテレビ放送等で知らせ、自分の役割を果たすことやルールを守ることの大切さを理解させる。</p> <p>② 全教職員の共通理解・共通認識のもと、決まりやマナーを守らせる指導を行い、できない生徒の言動を見過ごさない指導を適切に行うことにより、規範意識を高めていく。</p>	<p>【達成状況】</p> <p>【次年度の方針】</p>
<p>生徒の姿</p>	<p>A4 生徒は、時と場に応じたあいさつをしている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「生徒は、時と場に応じたあいさつをしている。」 ⇒ 生徒の肯定的回答 90%以上</p>	<p>① あいさつの大切さはもとより、あいさつの声が飛び交う明るい学校づくりの一端を担うという意識をもたせ、朝の会や帰りの会時、授業開始時・終了時、給食時のあいさつを習慣化させる。</p> <p>② 教職員が自ら率先してあいさつを行う。</p> <p>③ 学年委員会を中心としたあいさつ運動を、週1回程度実施する。</p> <p>④ 校内での来客や、校外の交通指導等でお世話になるPTAや地域の方々にもあいさつができるよう促す。</p>	<p>【達成状況】</p> <p>【次年度の方針】</p>
	<p>A5 生徒は、目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「私は、夢や目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。」 ⇒ 生徒の肯定的回答 85%以上</p>	<p>① 学級活動では、様々な職業の社会的役割や意義を理解させ、自己の生き方を考える指導を取り入れ、学習の意義や価値を考えさせたり、将来設計を行ったりできるよう指導する。</p> <p>② 将来の目標に近づくための進路実現を目指して、計画的なテスト前学習に取り組ませ、テスト後の結果の振り返りに、粘り強く取り組ませる。</p> <p>③ 「生徒が前面に出る」ために、関わる教職員は成功体験させるための入念な準備を行い、“黒子”に徹することで、「見守り・見届ける」指導の充実を図る。</p>	<p>【達成状況】</p> <p>【次年度の方針】</p>

<p>目 指 す 生 徒 の 姿</p>	<p>○A6 生徒は、健康や安全に気を付けて生活している。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「生徒は、健康や安全に気を付けて生活している。」 ⇒ 生徒の肯定的回答 90%以上</p>	<p>① <u>保健だよりや給食だよりを定期的に発行し、生徒へ健康や安全の重要性について周知する。</u></p> <p>② <u>朝食や給食を残さず食べること、歯磨きに関する強化週間を設け、委員会等でも呼びかけを行うことで、健康や食生活に対する意識を高める。</u></p> <p>③ <u>安全教育の充実を図るとともに、実技や実験、実習作業を伴う授業においては、生徒自身の危機予測や危機回避などの資質能力を高めるよう、安全に配慮する指導を徹底する。</u></p> <p>④ <u>一年中換気を行いつつ、エアコン使用の適切な運営や熱中症計の設置、冬季には加湿器の設置を行い、熱中症や感染症の予防に努める。</u></p> <p>⑤ <u>避難訓練を年2回行い、注意すべき点や安全に関する講話をすることで、災害安全や防災に対する関心を高めさせる。</u></p>	<p>【達成状況】</p> <p>【次年度の方針】</p>
	<p>A7 生徒は、夢や目標をもって、社会に貢献できるよう努力している。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「私は、夢や目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。」 ⇒ 生徒の肯定的回答 85%以上</p>	<p>① 学級活動や道徳で、自己を見つめ、自分が社会のためにできることは何か考えさせ、未来を担う社会人を目指して、夢や目標をもつことの大切さを理解させる。</p> <p>② 地域の貢献や社会奉仕の意義を理解させ、ボランティア活動や地域行事に進んで参加できる態度を育てる。</p> <p>② 地域未来会議（12月）や宇都宮学の授業などを通して、社会に参画し、地域の発展に貢献しようとする態度を育てる。</p>	<p>【達成状況】</p> <p>【次年度の方針】</p>

<p>目 指 す 生</p>	<p>A8 生徒は、英語を使ってコミュニケーションしている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「生徒は、英語の授業やALTとの交流の際に、英語を使ってコミュニケーションしている。」 ⇒ 生徒の肯定的回答 85%以上</p>	<p>① 英語の授業でALTやT2との活動の際、small talkを使って英語でコミュニケーションをとる場を計画的に設定する。</p> <p>② 英語の授業で、教員が発する英語の指示に生徒が英語で反応する学習の場面を多く設定する。</p> <p>③ 「ALTとコミュニケーション週間」を年に3回設定し、英語を積極的に使う機会を設ける。</p>	<p>【達成状況】</p> <p>【次年度の方針】</p>
<p>の 姿</p>	<p>A9 生徒は、宇都宮の良さを知っている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「私は、宇都宮の良さを知っている。」 ⇒ 生徒の肯定的回答 80%以上</p>	<p>① 各教科で地域の良さや学校の良さに触れる題材や学習場面を設定し、郷土に目を向けさせることで、宇都宮の良さに気付くようさせる。</p> <p>② 「総合的な学習の時間」での「宇都宮学」において、宇都宮の良さを学ぶ探究活動の充実を図る。</p> <p>③ 学校給食では、郷土食や宮っ子ランチを教材にして、宇都宮の歴史や文化について考えさせ、郷土への愛情と誇りをもたせる。</p> <p>④ 「宇都宮学」の学習の様子を「学年だより」で発信したり、保護者会等で生徒が発表したりする場を設定する。</p>	<p>【達成状況】</p> <p>【次年度の方針】</p>
<p>目 指</p>	<p>A10 生徒は、ICT機器や図書等を学習に活用している。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「生徒は、パソコンや図書等を学習に活用している。」 ⇒ 生徒の肯定的回答 85%以上</p>	<p>① ICT教育チームを中心に、校内のICT教育の体制を整え、教員のICT活用指導能力を高めていく。</p> <p>② 教員は、各教科で少なくとも1回は図書室を活用した授業を行う。</p> <p>③ 授業参観や一人一授業の公開授業では、ICTや図書等を活用した授業を行う。</p> <p>④ 年度当初、タブレットの正しい活用の仕方を生徒に指導する。</p>	<p>【達成状況】</p> <p>【次年度の方針】</p>

<p>す 生 徒 の 姿</p>	<p>A11 生徒は、高齢者に対する感謝やいたわり の心をもっている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「生徒は、誰に対しても、思いやりの心をもって優しく接している。」 ⇒ 生徒の肯定的回答 85%以上</p>	<p>① 9月の敬老の日に合わせ、道徳の「社会参画、公共の精神」の内容項目を扱い、各家庭の祖父母など的高齢者に対して感謝やいたわる心をもたせ、高齢者をいたわる気持ちを表すことができるようにさせる。</p> <p>② 清原老人連合会体育大会では、生徒ボランティアを積極的に活動させる。</p> <p>③ 地域協議会との活動や、学習ボランティアなど地域の高齢者との交流を通して、感謝の心を育むようにする。</p>	<p>【達成状況】</p> <p>【次年度の方針】</p>
	<p>A12 生徒は、「持続可能な社会」について、関心をもっている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「生徒は、環境問題や防災等の「持続可能な社会」について、関心をもっている。」 ⇒ 生徒の肯定的回答 90%以上</p>	<p>① 「持続可能な社会」を目指すための目標(SDGs)についての掲示物やスライドを作成し、生徒に啓発する。</p> <p>② 教室にプラスチックごみ箱、リサイクルボックスを設置し、持続可能な社会の実現に向けた行動に関心を高め、実行につなげる。</p> <p>③ 緑化委員会による学校敷地内の花壇の整備や松のこも巻き活動を通して、校内の緑化活動を推進する。</p> <p>④ 避難訓練を年2回行い、事後指導では、生徒全員の状況を丁寧に把握し、災害安全や防災に対する関心を高めさせる。</p>	<p>【達成状況】</p> <p>【次年度の方針】</p>
<p>目 指 す 学 校 の 姿</p>	<p>A13 教職員は、特別な支援を必要とする生徒の実態に応じて、適切な支援をしている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「教職員は、特別な支援を必要とする生徒や外国人生徒等の実態に応じて、適切な支援をしている。」 ⇒ 教職員の肯定的回答 90%以上</p>	<p>① 教育相談・特別支援教育部会において、生徒の状況についての情報を継続的に共有していくとともに、関係する学年・教職員との連携を図る。</p> <p>② 特別な支援を必要とする生徒について、学校生活で配慮が必要な生徒に関して、校内でケース会議を開催し、チームで支援の方法を考える。</p> <p>③ かがやきルームや校内適応教室の適正な運用を図る。</p>	<p>【達成状況】</p> <p>【次年度の方針】</p>

目 指 す 学 校 の 姿	<p>A14 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「先生方は、いじめが許されないことを熱心に指導してくれる。」 ⇒ 生徒の肯定的回答 95%</p>	<p>① 学級担任は、いじめを絶対に許さない毅然とした姿勢で学級経営を行うとともに、「個性」について考え、人との違いをより深く考えさせる場を設定する。</p> <p>○② <u>全教職員は、日常的に生徒の言動に気を配り、ふわふわ言葉（やさしい言葉）の推進をし、ちくちく言葉（人を傷つける言葉）の禁止を徹底する。</u></p> <p>③ いじめアンケートや観察から、いじめの早期発見・早期解決を徹底し、未然防止に努める。</p> <p>④ 保護者会や学校・学年・生徒指導だより・HPなどで、いじめの未然防止について取り上げ、いじめ根絶に向けた本校の取組を発信する。</p>	<p>【達成状況】</p> <p>【次年度の方針】</p>
	<p>A15 教職員は、不登校を生まない学級経営を行っている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「教職員は、不登校を生まないよう、一人一人の生徒を大切にし、生徒がともに認め励まし合う学級経営を行っている。」 ⇒ 教職員の肯定的回答 100%</p>	<p>① 学級担任は、係活動や当番活動、授業中の発表などで生徒一人一人の取組の良さを見出し称賛することで、生徒にとって居がいのある学校生活となるような学級経営を行う。</p> <p>② 教職員同士で生徒の望ましい言動を伝えあい、生徒の自己肯定感を高め、学校全体として生徒を見守り、見届ける指導をする。</p> <p>③ 保護者へ連絡をする機会に、生徒の良い点を意図的に伝えるようにする。</p>	<p>【達成状況】</p> <p>【次年度の方針】</p>
	<p>A16 教職員は、外国人児童生徒等の実態に応じて、適切な支援をしている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「教職員は、特別な支援を必要とする生徒や外国人生徒等の実態に応じて、適切な支援をしている。」 ⇒ 教職員の肯定的回答 90%以上</p>	<p>① 日本語指導に係る母語指導者や日本語ボランティアとの連携を図り、生徒の実態把握と困り感を把握する。</p> <p>② 外国人生徒の学習・生活体験等について国際理解担当教員が中心となって、学級担任や学年主任と連携し、共通理解を図る。</p> <p>③ 外国人生徒のみならず、保護者会や懇談等で通訳が必要な保護者の実態把握や対応を計画的に行う。</p>	<p>【達成状況】</p> <p>【次年度の方針】</p>

<p>目 指 す 学 校 の 姿</p>	<p>A17 学校は、活気があり、明るくいいきとした雰囲気である。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「私は、今の学校が好きです。」 ⇒ 生徒の肯定的回答 90%以上</p>	<p>① 生徒会活動をより活性化し、教師主導でなく、生徒の自発的な活動を伸ばすようにし、生徒が前面に出るよう、見守り助ける指導にあたる。</p> <p>② 学年主任は、学年の生徒たちが生き生きと活躍できる明るい雰囲気となるよう、各学年の諸活動を推進し、自分の学校に誇りをもてるようにする。</p> <p>③ 学校生活全般において教職員が意図的・計画的に生徒の頑張りや良さを認め、励まし、称賛する教育の推進を心がけ、生徒が自己有用感を実感できるようにする。</p> <p>④ 教職員一人一人が自信をもって自分の業務に取り組み、生徒と関わることで、学校全体が明るい雰囲気になるように努める。</p>	<p>【達成状況】</p> <p>【次年度の方針】</p>
	<p>A18 教職員は、分かる授業や生徒にきめ細かな指導を行い、学力向上を図っている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「先生方の授業は分かりやすく、一人一人に丁寧に教えてくれる。」 ⇒ 生徒の肯定的回答 90%以上</p>	<p>① 主体的・対話的で深い学びに向けた授業の実現を目指す。「今日のめあて」を適切に提示して学習に見通しをもたせ、「振り返り」の時間の確保を徹底することで、学習の達成感をもたせ、分かる授業につなげる。</p> <p>② ペアやグループ学習を取り入れた対話的な活動やICTの活用や教材・教具を工夫するなど視覚的な活動を通して、個に応じたきめ細かな指導を図る。</p> <p>③ テスト前に補習形式の質問教室を充実させ、個別の指導にあたる。</p> <p>④ 指導と評価の一体化を図りながら生徒の学習状況を把握することで、「努力を要する」生徒に対して適切な支援を行う。</p>	<p>【達成状況】</p> <p>【次年度の方針】</p>

目 指 す 学 校 の 姿	<p>A 19 学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。」 ⇒ 教職員の肯定的回答 90%以上</p>	<p>① 学校行事や諸活動では、目的や方法の共通理解を丁寧に行うことで、教職員全員が協力して業務に取り組む。</p> <p>② 担当者による報告・連絡・相談を徹底し、必要に応じて全体への周知を図る。また、諸活動の実施後は取組の検証を行い、改善策を次に生かすことで、チームとしての質の向上を図る。</p> <p>③ 生徒理解や配慮を要する生徒の適切な対応には、SCMを中心にSC、MS、学年や学級担任との連携を密にし、全職員で情報共有や協力した取組を行う。</p>	<p>【達成状況】</p> <p>【次年度の方針】</p>
	<p>A 20 学校は、教職員の勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「学校は、教職員の勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。」 ⇒ 教職員の肯定的回答 70%以上</p>	<p>① 出退勤記録の入力や適切なリフレッシュデーの設定により、勤務時間の意識化を図る。</p> <p>② 諸会議録や連絡事項、学年・教科間で共有できる電子データを活用して業務の効率化を行う。</p> <p>② 定期的にアンケートなどを実施し、業務改善を図ったり、校務運営委員会や学年主任会、職員会議を活用して、学校行事の円滑な運営や計画的な学年経営を行う。</p> <p>③部活動顧問を複数配置し、ローテーションで指導にあたる。</p>	<p>【達成状況】</p> <p>【次年度の方針】</p>
	<p>○ A 21 学校は、「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「学校は、「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。」 ⇒ 教職員の肯定的回答 90%以上</p>	<p>① 乗り入れ授業、小中情報交換会、児童生徒指導強化連絡会、あいさつ運動、お弁当の日、小学6年生の中学校訪問など、小中の連携を図り、取組の充実を図る。</p> <p>② 地域学校園教職員研修の授業研究を行い、その指導法や成果等を共有し教科指導力向上を目指し、次年度に向けた課題の洗い出しをする。</p> <p>③ 学校ホームページや学校だより、「地域協議会だより」や「清原地域学校園だより」において、小中一貫教育や地域学校園の活動の様子を保護者や地域に周知する。</p>	<p>【達成状況】</p> <p>【次年度の方針】</p>

目 指 す 学 校 の 姿	<p>A22 学校は、地域の教育力を生かした特色ある教育活動を展開している。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている。」 ⇒ 教職員の肯定的回答 95%以上</p>	<p>① 地域コーディネーターと連携し図書館や学習活動等のボランティアなど、地域人材を活用した諸活動を推進する。</p> <p>④ 各学年のクリーン活動や美化委員によるとびやま城址跡公園ボランティア清掃、学校敷地内の緑化環境整備をPTAや地域と協力して行い、運営の充実を図る。(R5・75周年記念行事を意識した取り組み)</p> <p>② 地域の教育力を生かした特色ある活動を学校だよりやHPなどで、積極的に情報発信する。</p>	<p>【達成状況】</p> <p>【次年度の方針】</p>
	<p>A23 学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、よりよい生徒の育成に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている。」 ⇒ 教職員の肯定的回答 95%以上</p>	<p>① 清原中学校地域協議会の協力を得て、学習ボランティアや校内環境整備活動等を展開しながら学校運営の充実を図る。(R5・75周年行事を意識した取り組み)</p> <p>② 青色防犯パトロールや下校指導をPTAや地域協議会と連携して実施し、生徒の安全確保の協力を得る。</p> <p>③ 「地域未来会議」を12月に実施し、清原地域の未来について生徒と地域、家庭と協議する場を通して、郷土を愛し地域の未来を創造しようとする生徒の育成に努める。</p>	<p>【達成状況】</p> <p>【次年度の方針】</p>
	<p>A24 学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。」 ⇒ 教職員の肯定的回答 100%</p>	<p>① 毎月1回の安全点検を丁寧に行い、危険箇所の早期発見を心がけ、早期対応を図る。</p> <p>② 台風や地震、落雷、降雪などの災害発生前後に校舎内外の巡視を行い、危険回避につとめるとともに、危険箇所の早期発見・早期対応を図る。</p> <p>③ 来校者をチェックし、名札の着用を求めるとともに、校門を登下校時以外は閉めておく。</p> <p>④ 感染症予防のために、来校者が校内に入る場合はマスク着用と手指消毒を求める。</p>	<p>【達成状況】</p> <p>【次年度の方針】</p>

	<p>A25 学校は、学習に必要な I C T 機器や図書等を整えている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「生徒は、I C T 機器や図書等を学習に活用している。」 ⇒ 教職員の肯定的回答 90%以上</p>	<p>① 生徒が授業や家庭持ち帰りにおいて、タブレットを快適に使用できるよう適切に管理・運営する。また、教職員に周知していくことで、授業での活用率を上げていく。</p> <p>② 職員室の棚に書画カメラやDVDプレーヤー、CDラジカセ等を置き、管理簿を用いて紛失を防ぎ、定期的にメンテナンスをするなど、保管・整備を工夫する。</p> <p>③ 必要図書アンケートを教職員や生徒に行って希望図書を購入し、学習に活用しやすいように、テーマ別にコンテナに分けておく。</p>	<p>【達成状況】</p> <p>【次年度の方針】</p>
<p>本 校 の 特 色</p>	<p>B1 生徒は、家庭学習の習慣化を図っている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「生徒は、自主的に家庭学習に取り組んでいる。」 ⇒ 生徒の肯定的回答 90%以上</p>	<p>① 各学年最初のガイダンスにおいて、具体的な家庭学習の仕方を指導する。また、学年だよりで保護者にも見守りを依頼し、家庭の協力を得る。</p> <p>② 学習委員会が中心となり、自主学習ノート提出の呼びかけやチェックを行う。また年4回、自主学習ノートを毎日提出できた生徒の表彰や、優秀なノートの展示を行う。</p> <p>③ 自主学習ノートの確認を朝の時間を利用して学年体制で行う。未提出の生徒や取組が不十分な生徒には、学級担任が学習の仕方等を個別指導する。</p>	<p>【達成状況】</p> <p>【次年度の方針】</p>
<p>課 題 等</p>	<p>B2 生徒は、草花栽培活動やクリーン活動に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「生徒は、クリーン活動や草花栽培に取り組んでいる。」 ⇒ 生徒の肯定的回答 90%以上</p>	<p>① 緑化委員会による花壇の整備や水やり、中庭の緑化環境を充実させる。また、緑化委員の取組として校内掲示板で周知する。</p> <p>② 学年ごとの校内クリーン活動を年2回、11月に美化委員会によるとびやま城址跡清掃ボランティアを行い、環境美化の意欲を高め、生徒がより主体的に活動が行えるように働きかける。</p> <p>③ 特色ある学校づくりの一端として、1学年の総合的な学習の時間における草花栽培活動や食農体験活動を充実させ、生徒の自主的・主体的活動を促すようにする。</p>	<p>【達成状況】</p> <p>【次年度の方針】</p>

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">本校の特色・課題等</p>	<p>○B3 生徒は、交通ルールやマナーを守って安全に登下校をしている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「生徒は、交通ルールやマナーを守って安全に登下校をしている。」 ⇒ 生徒の肯定的回答 90%</p>	<p>① <u>年度初め、新入生に向けた交通安全指導の徹底と交通安全教室を年2回実施し、交通安全への意識を高める。また、定期的に登校指導や日頃の交通マナーを確認するとともに、生徒の通学状況及びLRT工事などによる危険個所の把握に努める。</u></p> <p>② 部活動終了後の日々の下校指導や、PTAの年間を通した下校指導、年2回の自転車点検を行うことで、安全に登下校ができるよう指導する。</p> <p>③ <u>交通安全委員が帰りの会で反射ベスト点検やヘルメットのあごひも点検を行い、安全に登下校できるよう呼びかけをさせる。また、「交通安全週間」を設けることで、改めてマナーや危険個所を振り返られるよう指導する。</u></p> <p>④ 交通事故が発生した際は、教職員が現場に向いて現状確認と適切な対応処置を行い、再発防止に向けて全生徒に指導を行う。</p>	<p>【達成状況】</p> <p>【次年度の方針】</p>
	<p>〔総合的な評価〕</p> <p>※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。</p>	<p>7 学校関係者評価</p> <p>8 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）</p> <p>※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。</p>	